

【主な出来事】

- ルカシェンコ大統領、ユーラシア経済連合(以下、EAEU)、最高ユーラシア経済評議会に出席(5/29)
- 日本でベラルーシ・中国産業特区「巨石」に関するセミナー開催(5/28)
- ユーラシア開発銀行、2019年ベラルーシ経済成長率1.5%の見込みを据え置き

大統領動静

●プーチン露大統領と協議(5/29)

ユーラシア経済最高評議会会合の出席のため、カザフスタンを訪問しているプーチン露大統領と同会合の際に協議。ベラルーシ・露統合深化に向け、現在行われている両国間のすり合わせ作業期限を6月21日と定め、その後、両国首脳会談を開催することを合意。なお、低品質石油問題については協議されなかったと報道されている。

(5/29 ベラパン通信)

●ユーラシア経済連合(以下、EAEU)、最高ユーラシア経済評議会に出席(5/29)

カザフスタン・ヌルスルタンで開催された同会に出席し、以下発言をした。

- ・今回の評議会は、EAEU 創設条約 5 周年にあわせ開催された。
- ・EAEU は設立から間もないが、域内効率性改善、自立性向上、経済成長等の結果を出している。
- ・域内貿易額は増加傾向にある。2017年同額は2016年対比27%増、2018年同額は2017年対比12%増。一方で第三国との貿易が増加しており、域内貿易の成長が減速することを警戒する。
- ・国際政治の舞台で、EAEU との協力を避けたいという発言するものをいるが、彼らはうらやましがっているか、恐れているかのいずれかである。
- ・統一市場の形成、資本・商品・サービス移転の自由保障等、既に妥結している合意事項の適切な履行が重要。
- ・保護主義的決定に反対しなければならない。新たに加盟を申し出る国がいれば、快く受け入れ、全ての分

野における平等条件を提示する必要がある。

・ユーラシア経済委員会の権限拡大は重要。今般名誉議長に就任したナザルバエフ・カザフスタン前大統領が大きな援助をしてくれるであろう。

(5/29 大統領府)

●ナザルバエフ・カザフスタン前大統領(以下、「ナ」前大統領)と会談

同会談で、ルカシェンコ大統領(以下「ル」大統領)は、ユーラシア同盟構想25周年・ユーラシア経済連合創設条約署名5周年の記念、および、カザフスタン・ベラルーシの協力の深化・拡大に対する「ル」大統領の貢献に対し、“カザフスタン共和国ナザルバエフ初代大統領”勲章を受章。

「ル」大統領の発言内容:

- ・ベラルーシ国民に対し最高の敬意を払って頂き大変感謝している。
- ・何があろうと、役職が変わろうと、我々は友好という強い絆で結ばれている。いつでもベラルーシにお越し頂きたい。
- ・トカエフ大統領を後任に選出した決定は賢明である。同大統領は立派な人物である

ナザルバエフ前大統領の発言内容:

- ・ルカシェンコ大統領が居なければ、ユーラシア経済連合はなし得なかった。
- ・地域統合の過程で、我々は常にイニシアチブを取り、共に戦ってきた。このことを忘れはしない。私は貴方にとって最良の友人である。

(5/28 大統領府)

●トカエフ・カザフスタン大統領と会談(5/28)

ルカシェンコ大統領の発言は以下の通り
・大統領選挙(6/9)が控える多忙な時期に会談に応じて頂き深謝。大統領選挙の実施を歓迎する。
・ナザルバエフ前大統領より、トカエフ大統領について多く聞いている。お二人の尽力により、現在のカザフスタンがある。
(5/28 大統領府)

内政・外交

【内政】

●2019年1～4月の国内職権濫用・贈収賄状況

()内は昨年同時期比
職権濫用:100件(26.5%減)
横領:350件(9.4%増)
贈収賄:984件(38.6%増)
(5/29 ベラパン通信)

【外交】

●李作成・中央共産党軍事委員会委員・統合参謀部参謀長、ベラルーシ・ラフコフ国防大臣との会談のためベラルーシへ訪問(5/28-31)

会談において李作成委員は、ベラルーシ・中国間のパートナーシップの発展と強化・両国間軍事協力の将来性を強調した。さらに、両国間共同軍事演習や軍事教育、上海協力機構の枠組みにおける軍事分野での相互関係に関する協議がなされた。

(5/31 ベラルーシ・中国)

●トゥルチン副首相、在ベラルーシ・ビクトリン EU 代表部大使との会談(5/29)

ベラルーシの地方のゆるぎない発展に向けたEU援助、経済開発協力機構とのパートナーシップ、競争力の強化、欧州のベラルーシへの投資誘致等、複数の合意書を妥結。
(5/30 ベルタ通信)

●クラフチェンコ・ベラルーシ外務次官、東方パートナーシップ10周年「今日の実績、明日の目標」会合に出席(5/28-29)

オーストリア欧州・統合・外務省、欧州議会ルーマニア代表が主催。ビクトル・ミクラ・ルーマニア外務省官房長、ダニエル・モラリ・モルドバ外務・欧州統合省官房長等が参加。クラフチェンコ次官は、同会合にて、「東方パートナーシップは、ベラルーシ・EU の関係改善のポジティブな要因となっている」と発言。
(5/29 ベラパン通信)

経済

【国内経済】

●ベラルーシ、国債減少

2019年5月1日時点におけるベラルーシ国債は、同年1月1日より17億ルーブル(3.8%)低い、437億ルーブル。対外債務は、1月1日より2億ドル(1.3%)低い、167億ドル。
(5/31 ベラパン通信)

●トゥルチン副首相、給与の低い企業へ警鐘

同副首相は、従業員への給与が不当に低い企業の存在が経済発展の障壁となっていると表明。7月1日までには最低月給400ルーブルに引き上げ、2020年1月には500ルーブルまで引き上げる計画。
(5/26 ベラパン通信)

【対外経済】

●日本でベラルーシ・中国産業特区「巨石」に関するセミナー開催(5/28)

東京と福岡で開催された。主催は、在京ベラルーシ大使館、巨石工業団地開発会社、ロシア NIS 貿易会、海外投融資情報財団。東京における参加者は約70名、福岡における参加者は約50名。パネルディスカッションにおいて、駐中国キリル・ルディ・ベラルーシ大使がモデレーターを勤め、日本の投資家に対し、7月2日に「巨石」で開催される国際フォーラムへの参加を呼びかけた。
(5/30 ベルタ通信)

●ユーラシア開発銀行、2019年ベラルーシ経済成長率1.5%の見込みを据え置き

2019年第一四半期の国内総生産増加率は1.1%であった。同銀行研究所は、平均賃金上昇に伴う消費増、生産性改善、均衡のとれた財政を基盤とした適正な融資状況により経済成長率1.5%達成を見込む、と発表。他方、石油製品の輸出減少が将来的にネガティブな影響を与える可能性も示唆。

(5/25 ベラパン通信)

(了)